

ホワイトペーパー

働き方改革から DX へ

～企業は働き方改革から、
DX（真のデジタル企業）への変革を～



1. 先の読めない時代

今は、VUCA※の時代といわれています。2010年代初頭から使われ始めたこの言葉は、不確実性の高まりから将来が見通せないさまざまな状況によって定着してきました。

※: VUCA: Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)

2020年初頭、この新型コロナウイルスによる現状を、何人が予想できたでしょうか。感染拡大防止の観点から、意図せずテレワーク（リモートワーク）を強いられることになり、これまでの考え方を180度変えるような事態が起きたのです。

2. After コロナではなく、With コロナ

現在までのところ、新型コロナウイルスの終息は見通せず、いや応なくこの未知なるウイルスとの共生をしていかざるを得ない状況です。つまり、After コロナではなく With コロナという考え方です。

With コロナとは、これまでの産業構造が変わり、完全にはもとには戻らない前提で活動することです。今を凌げばなんとかなるという発想は捨てるべきです。つまり、現状を受け入れ、いかにこの環境に順応してビジネスを展開していくかということになるのです。

リモートワークが通常となり、リアルな面談が例外的という世界、旅行やイベントを特別な機会として考えなければいけない世界です。

これまでの昭和的なビジネスモデルは崩壊し、訪問、会合や接待などでビジネスを作ってきた人たちは行き場をなくし、デジタルを武器にした世代が台頭する…こういった未来が訪れるかもしれません。

3. 新しい価値観、ニューノーマル（新常態）への取り組み

今回のウイルスがもたらした大きな環境の変化を、これからの標準「ニューノーマル」（新常態）として捉えていくことも考えねばなりません。

我々は今回の新型コロナウイルスをはじめとしたウイルスや自然環境と共生し、コントロールする方法を学んでいかなければなりません。この環境を前提とした新しい働き方や、デジタルやITを活用した新しいビジネスの世界を作っていくべきだと考えます。

4. ニューノーマル（新常態）がもたらすもの

例えば、テレワークによりロケーションフリーで業務が遂行可能になることで、3密のない地方の価値が高まります。働く場所の制約から解放されることによって、ローカル経済（土地が安く、物価も安く、通勤が容易、待機児童なし）。の拡大が考えられます。

また、オフィスに出勤する機会が減るのであれば、都心の高価なオフィス環境を確保する必要がなくなるかもしれません。通勤時間もなくなり、家族との時間が増えるといったメリットもあります。

消費活動もモノからコト、所有から利用へと変わり、サービス化の流れが加速し、産業構造そのものが大きく変化する可能性があります。

良いことばかりではないかもしれませんが、それは、これまでの生活スタイルやビジネススタイルに基づくものであり、私たちの考え方そのものを変えていく必要があります。

5. デジタルで働き方とビジネスを変えていく

これまでも「働き方改革」が注目され、テレワーク（リモートワーク）への取り組みがなされてきました。よく間違えられますが、「働き方改革」＝「テレワーク」ではなく、テレワークはあくまでも手段であり、目的ではありません。

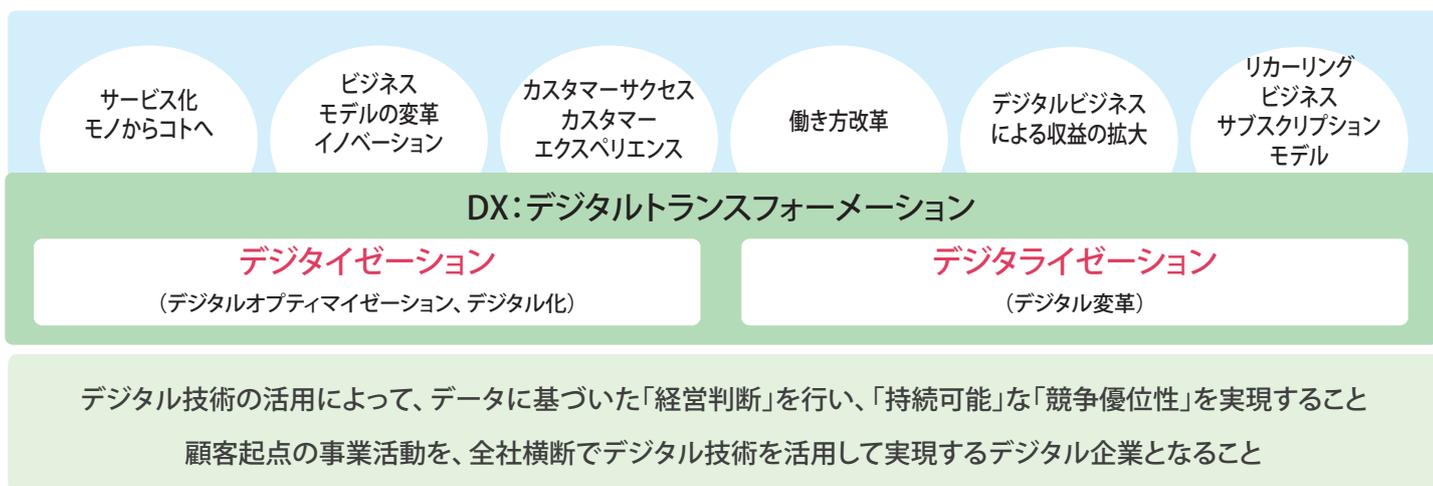
しかしながら、これまでのテレワークの取り組みは、「会社でする仕事を、一時的に家で行う」ことでした。今後は、「通常は家で仕事をして、必要な時だけ会社に行く」つまり、考え方を180度変える必要があるのです。

デジタル・ITの力を使い、場所にとらわれずに個人が業務を遂行するだけでなく、企業としてビジネスそのものを推進していくことが必要になります。

そこで思い浮かぶのが、昨今話題のDX（デジタルトランスフォーメーション）です。DXとは、デジタル技術によってデータに基づいた経営を実現し、「持続可能」な「競争優位性」を実現することです。

働き方改革はDX実現のための手段であり、企業を変えていく原動力と位置付けるべきです。

図：企業の事業課題とDXアプローチ



[解説]

デジタイゼーション：デジタル化・IT化と同義。主に企業の社内業務の業務改善や効率化、品質向上のためにデジタル・ITを利用すること。これまで長年にわたって情報システム部門が取り組んできた

デジタライゼーション：新技術を利用し、データによる経営、お客様とのつながりを実現するシステムを利用し、イノベーションによる事業拡大を目指すこと。攻めのITとも呼ばれる

DXは、デジタライゼーションとデジタイゼーションを組み合わせ、経営そのものをデータドリブンに変えていくことを目指すものです。

6. DXに向けた、働き方改革へのアプローチ

現在は、緊急事態宣言における外出自粛に伴い、自宅で仕事をするためのテレワークを実施するためのインフラ面の整備に焦点が当たっています。

しかしながら、中長期の視点でテレワークや非対面が当たり前の「ニューノーマル」になった場合に、これまでと異なる次元の問題と課題が現れることが想定されます。

そして、これらの問題と課題を解決するためには、より効率的にデジタル・ITを活用していくしかないのです。

ユニリタグループでは、これから起きることが想定される「働き方改革」の問題と課題を4つのステージとして整理しました。

図：ユニリタグループが考える働き方改革の4つのステージ

	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4
定義	ロケーションフリー 自宅で快適に仕事ができる環境が整っている	情報共有／連携 仕事をする上で、必要な情報が、セキュリティが担保された状態ですぐに手に入る	生産性の向上 組織間の壁が無く、プロセスが可視化されており、ペーパーレスで仕事ができる	DX デジタルデータに基づいた経営判断ができる。社員がどこにいてもストレスなく勤務できる
問題	<ul style="list-style-type: none"> 自宅に環境が無い 会社の設備が対応できていない 家族への配慮 出社しないとできない仕事がある 	<ul style="list-style-type: none"> 企業内の情報が分断している 報を共有する仕組みがない 捺印などのため出社が必要 メンタルヘルス 	<ul style="list-style-type: none"> プロセスが暗黙知になっている 部門間の壁が高く、サイロ化 紙での処理が多く残っている 人事評価の変更が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 経営に資するデジタルデータが統計的に管理されていない システムやデータが散在している ビジネスがサービス化されていない
仮題	インフラの整備（PC 機器、ネットワーク、ソフトウェアツール、什器） IT リテラシーの向上 就業機会の拡大、労務管理	ポータルや、データ連携の強化 セキュリティ強化、人事制度設計 リモートワークのリテラシー向上 データマネジメント	SoR BPR/BPM、プロセス整備、 ワークフロー、データ連携 業務改革、制度設計、効果測定 プロセスマネジメント	デジタルデータに基づく経営判断 SoE/Sol の整備。デジタル変革 DX 人材の育成、 サービスマネジメント

ステージ1 ロケーションフリー

自宅をはじめとする、場所にとらわれずに、PC 機器やネットワークを整備し、快適かつ一定程度のセキュリティが担保された環境で仕事ができる状態にする必要があります。現在はこのステージが多く、働き方改革における、環境の整備段階といえます。しかし、従業員の働き方においては、ルールや基準、労務管理やモチベーションの維持などの課題も出てきました。

ステージ3 生産性の向上

情報が効率的に共有されることによる生産性の向上も期待できますが、これまでオフィスに出社していたからこそ実施できた、各種業務や組織間の「調整」業務が大きな壁として立ちはだかります。生産性の向上のためには、組織間の「壁」をなくし、業務プロセスが可視化され、運用ルールも明確であることが求められます。これらの業務をデジタル・ITを活用することによって、ペーパーレスや、企業活動のデジタルデータ化にもつながり、DX 実現の基盤として構築することを目指します。

ステージ2 情報共有 / 連携

次のステージは、働く人と人との情報共有 / 連携を実現することです。オフィスにいることを前提としている現在の業務プロセスでは「人に聞く」「紙の資料」など、出社しなければならない仕事が多くあり、ロケーションフリーではできない、あるいは効率的でない仕事もあります。もとに戻らない、または今後も働き方改革を実現していくためには、情報の共有をシームレスに、かつセキュアな状態で実現することが必要不可欠といえます。

ステージ4 DX

働き方改革の先にあるもの。
企業の DX の実現には、働き方改革の実現が必要不可欠といえます。これまでの働き方を見直し、デジタル・IT 技術を活用することによって、企業の在り方そのものを問い直すことが必要なのではないでしょうか。また、DX のためのデジタル・IT による新しいシステム構築や利用との整合性も図っていく必要があります。人とデジタルを連携し、企業価値を高めていくことが DX の本質であると考えています。

7. ユニタグループ 4つのアプローチ

ユニタグループでは、この「働き方改革の4つのステージ」におけるステージごとの課題に対して、4つのアプローチによる解決策を提供します。

私共は、この状態を一過性のものではなく、「ニューノーマル（新常態）」として捉え、お客様の働き方改革とDXの実現を支援します。

図：ユニタグループ 4つのアプローチ

4つのアプローチ	内容
コンサルティング	アドバイスや提言、フレームワークや自らの知見に基づいて、お客様の課題を役務で解決する
ソリューション	システム開発やプロダクト、サービスを組み合わせ、お客様の課題を解決する
プロダクト	パッケージソフトウェア・製品の開発と販売、保守サービスによって、お客様の課題を解決する
サービス	ユニタGがサービスプロバイダとしてサービスを提供することによって、お客様の課題を解決する

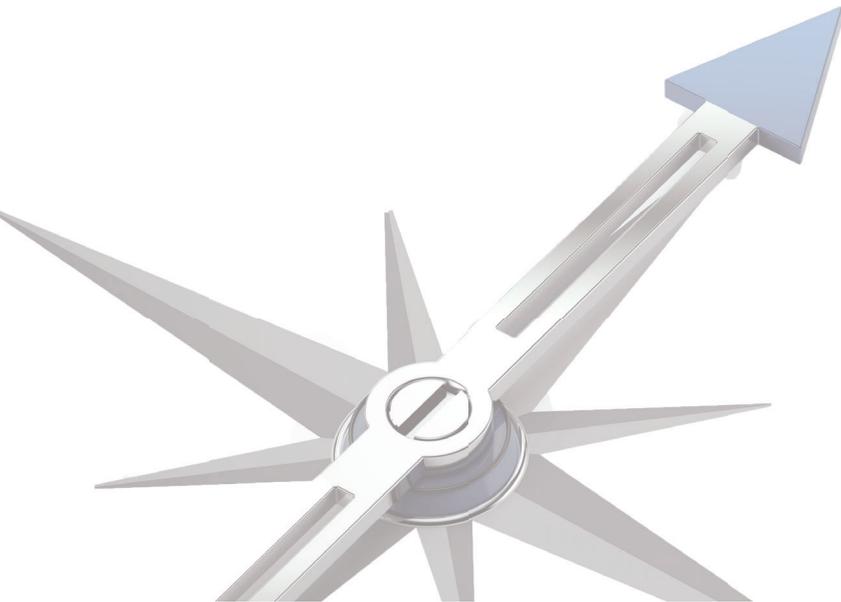
8. おわりに

これまでも、リーマンショックや、東日本大震災、少子高齢化などのさまざまな経済的要因や災害、社会課題が発生する中、働き方改革やDXが提唱されてきました。今回、新型コロナウイルスへの対応が「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ことになるのか、ニューノーマル（新常態）への布石になるのか、何年後かに評価されることとなります。

今回の新型コロナウイルスへの対応については、ステージ1レベルを実現するだけでなく、Withコロナの先にあるニューノーマル（新常態）を見据え、働き方改革とDXの実現に向けて、中長期的な視点で活動する起点として捉えてみてはいかがでしょうか。

我々ユニタグループは、これまでの経験とノウハウを活かし、お客様に寄り添いながら、お客様の「働き方改革」と「DXへの挑戦」を支援します。お気軽にご相談ください。

DIGITAL TRANSFORMATION



株式会社ユニリタ



本 社 〒108-6029 東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティA棟 TEL 03-5463-6383
名古屋営業所 〒451-0045 名古屋市西区名駅 3-9-37 合人社名駅 3ビル TEL 052-561-6808

ユニリタグループ

株式会社アスペックス / 株式会社ビーティス / 株式会社データ総研
備実必上海軟件科技有限公司 / 株式会社ビーエスピーソリューションズ
株式会社ユニ・トランド / 株式会社ユニリタプラス / 株式会社無限

本文書は、情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。